

産業廃棄物処理計画書

作成した日を記入

令和〇〇年〇〇月〇〇日

佐賀県知事 〇〇〇〇 殿

都道府県名から記入してください。

提出者

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号

代表取締役 〇〇〇〇 代表者印、社印等の

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

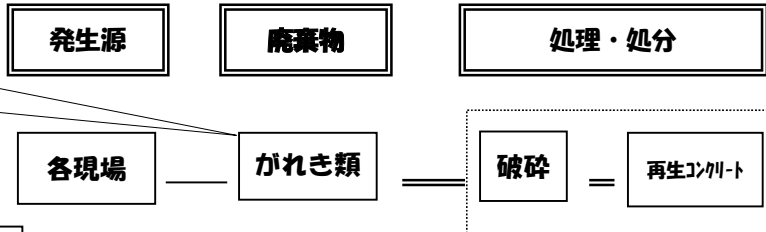
電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社〇〇〇建設 都道府県名から記入してください。
事業場の所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 ※ 例えば、事業者独自の処理計画が5年間であっても、多量排出事業者は年度ごとに提出しなければならない
計画期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項		日本標準産業分類の「中分類」から選択し報告者の業種を記入してください。
① 事業の種類	06 総合工事業	業種に応じて前年度の実績を記載してください。 (例) 製造業の場合: 製造品出荷額 建設業の場合: 元請完成工事高
② 事業の規模	〇〇〇〇万	
③ 従業員数	〇〇〇人	

※「産業廃棄物の一連の処理の工程」については、発生する廃棄物の種類ごとに記入してください。



④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。全てを記入することができない場合は、「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付してください。

==== : 廃棄物の流れ □ : 委託処理部分の範囲

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

管理体制図には役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記載する。既存資料の添付可(ただし、個人名は削除してください)
書ききれない場合は、別紙を添付してください。

産業廃棄物の種類が3種類以上ある場合は、産業廃棄物の種類の欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・現場での加工等を極力減らし、産業廃棄物の発生を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材を採用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 一時保管場所の確保等、更なる分別を徹底し再生利用を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

「自ら再生利用を行った産業廃棄物の量」は自ら直接再生利用を行った量と自ら中間処理を行った後、自ら再生利用を行った量の合計数値を記入してください。

①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら再生利用が可能な施設導入を検討する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし 「自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量」(*)は中間処理を行う前の量ではなく、中間処理により減らした量を記入してください。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理により減量が可能な施設導入を検討する。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物を委託できる業者と書面による契約を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者、熱回収業者へ委託処理する。 ・行政との連携、業界のネットワークを活用し再生処理ルートを確保する。 ・委託業者には定期的に現地確認を実施する。 ・電子 manifests の運用のため、電子 manifests 対応可能な処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

